

事業所名	ままはぐ八王子片倉事業所				支援プログラム	作成日	令和7年	3月	3日
法人（事業所）理念	『ご利用児とご家族を支え、一緒に悩み、喜び、共に歩む。』 それぞれの利用児に合わせて、楽しさや喜びを感じていただけるような時間を過ごせる環境を整える。 ご利用児が表現してくれる小さなサインを見逃さず受け止め、強みを大切に成長発達のための支援をしていく。 ご家族のレスパイトの提供、ご相談など、ご家族に寄り添い共によりよい方法を考えサポートしていく。								
支援方針	一人ひとりに合った「たくましく生きる力」を育て活かすことが、障がい者支援において最も重要であると位置づけています。 利用者に真っ直ぐ向き合い、何が必要かを考え実践するための『環境』を整え、本人の気持ちや保護者様の思いを大切に『個別支援計画』を作成し、自立への一歩を踏み出す支援をしていく。 一人ひとりにあった経験や交流を通じて「楽しさ」「喜び」を感じ笑顔になれるようさまざまな体験・交流・支援を行います。								
営業時間	8時	30分	から	16時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>○健康状態の把握…毎日、検温（こもり熱や低体温）血圧、酸素濃度を測定し、記録する。</p> <p>○食事…経口食 経鼻経管栄養 } 医療指示書にそって看護師が行う。 胃管栄養</p> <p>アレルギーのある利用児には…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのご利用児が使うものは、スポンジもすべて他のご利用児のものとは分けて保管。 ・キッチンの見えるところにアレルギーのあるご利用児の一覧表を掲示して、名前と食べ物が一目でわかるようにし、支援員同士で周知する。 ・食材が大きめ、食べにくそうな場合は、アレルギーのあるご利用児専用のキッチンばさみを使用し、他のご利用児と使いまわすことはしない。 ・アレルギーのあるご利用専用キッチンばさみ、お皿、スプーン、フォーク、トレー、コップは他のご利用児の食器と違う場所へ保管する。 ・アレルギーのあるご利用専用洗剤スポンジ用意し、スポンジに名前を書く。 ・アレルギーのあるご利用専用食器をアレルギー児童1、2、3と記入して、他のご利用児と使い回ししないように用意する。 ・アレルギーのあるご利用専用食器やトレーなどは、分かりやすいように、派手な色、模様が入ったものにして、支援員1人1人が違いがわかるようにする。 ・違うご利用時のお弁当に触れた際は、必ず手を洗う。 ・1人がキッチンに入って準備する。 ・アレルギーのあるご利用児の食事の準備から行う。冷蔵庫内もアレルギーのあるご利用児のものに分ける。 <p>○排泄…自立排泄に向けての支援。導尿、洗腸などは医療指示書にそって看護師が行う。</p> <p>○睡眠…それぞれのリズムに合わせて事業所で安心過ごせるようにする。（眠剤を使っているかなど、保護者とも連絡を密に行う）</p> <p>○身辺自立…着替えや片付けなど、その子に合ったやり方で出来るよう、出来た喜びが味わえるよう支援していく。</p>							
	運動・感覚	<p>その子の得意な動き、苦手な動きなどを知り、PT、OTとも連携をとり、また、リハビリ同行し、遊びや生活に取り入れていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重力に対して真っすぐに立つ、座るなど姿勢を維持することでバランス感覚を養う。 ・ボディイメージを作る。 ・動の向きから傾きを感知したり、揺れやスピードを感じとる。姿勢の保持やバランス、目の動きや覚醒に刺激を与える。 ・季節や自然気候を感じる。 ・手首や指、身体を動かすことで、微細運動を刺激する。 ・思いっきり身体を動かして遊ぶ。 ・歌、拍子に合わせた動きを行うことで、リズム感や反射機能を養う。 <p>【例】</p> <p>◆ダンス・リトミック◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音を聴くことに集中する ・音楽に合わせて身体を動かす ・聴く、手、足、肩、腰など身体の部位を意識する ・楽器を使うことで、リズムをとる楽しさを味わう ・布やフラフープなど道具を使って音に合わせる感覚を楽しむ <p>◆工作◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、テープ、のりなど道具を使って物作りを楽しむ ・道具を使うことで、手先の感覚を感じる ・何を作るか、何が出来るか想像したものを形にする ・視覚で色を感じ視線や手足の動きで気持ちを表そうとする 							

		支 援 内 容	
認知・行動	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをとる感覚を育む。 ・楽しい歌やリズム、目と目を合わせ、身体に触れあって愛着関係を築く。 ・カードや○、×を使ってお子様の気持ちを指さしや、目の動きから読み取る。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭以外の人との関り、地域の人や環境に触れ合う。 ・安心、信頼関係の構築。 ・安心して通えるよう、預けられる事業所、支援員になる。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、笑ったりすることで楽しい雰囲気がうまれ表現力を育む。 ・散歩や、施設外に出かけた時、こんにちはと挨拶したり、お話することで家族以外の人との交流の場になる。近隣地域との関りが増え、交流できる。 ・支援員が楽しんで楽しい雰囲気を作る。 	
	家族支援	<p>【放課後等デイサービス】 障害のあるお子様を育てるご家族が未来を思い描き向かっていけるように支えていきます。</p> <p>保護者と同じ目線でお子様の成長に向き合い、進路や将来について一緒に考え、成長の段階に応じた対応、情報提供をします。</p> <p>家庭と仕事との両立、ご兄弟姉妹のお世話、ご家族のレスパイトの時間を確保し、生き生きと充実した時間が持てるように支えていきます。</p> <p>継続した支援が受けられるように福祉サービスの情報提供や病院同行、リハビリ同行など関係機関と連携を取っていきます。</p> <p>保護者やご家族同士の繋がり、仲間づくり、情報交換ができる交流会・講習会を開催します。</p>	移行支援
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の老人ホームや保育園との交流、訪問し共に楽しく過ごす会などを開催する。 ・事業所にて夏祭りやバザーを開催し、地域の方を招き交流をする。 ・地域の公園の清掃活動や畑をお借りして種まき体験、収穫体験、など一年を通して、地域の農家さんと交流。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村で開催される研修・セミナーへ積極的に参加。 ・事業所内でのカンファレンスや支援・理念研修。 ・児発管やコーディネーター等の管理者へステップアップするための研修受講。
主な行事等	4月 お花見 5月こどもの日のお祝い 7月七夕祭り 8月プール・夏祭り 9月お月見 10月ミニ運動会 11月紅葉 12月クリスマス会 1月新年のお祝い 2月雪遊び・節分・豆まき 3月卒業式・進級お祝い会		